

表情力高める「無言誕生日実習」

言葉だけに頼っていて、表情や身振りがあっても思いやりや親しみを感じることができない人が多くいます。大切さを相手に伝えることができない人が多くいるのです。実習の体験で表情、アイコンタクトや身振り・手振りの重要性に気がつくことができます。お客様に挨拶するときも、ちょっとしたアイコンタクト・身振り・

進行役は、次のように注意事項を伝えます。
「これから誕生日の順番に並んでください。年齢は関係ありません。月日の順番に並びます。1月1日生まれの人から円がスタートします。次々に並んでいって円の最後は12月31日になります。ただし、円を作るときに言葉を出してはなりません。身振り、手振



り、アイコンタクト、表情で意志を伝えようとはかまいません」

ストップウォッチで時間を計測して、スピード感を出すという目的は、言葉を使わずにコミュニケーションができてくる体験をすることです。ノンバーバル(非言語)のコミュニケーションの重要性を感じることが出来ます。体を使って全員でやるので朝礼が活性化される効果もあります。ちなみに、この実習では話をしっかりと聴く習慣がない人ほど間違えやすいです。

この日、誕生日の人がいたりした時には、サプライズで歌を身に付けましょう。

ハッピーバースデーを歌うと盛り上がりやすいです！

*

人はほとんどの情報を視覚情報から得ています。米国の心理学者アラハム・メラビアンが発見した、メラビアンの法則として知られています。この法則は、ノンバーバル(非言語)コミュニケーションがいかに重要かを示しており、アイコンタクト、表情、身振り、手振り、触れ合い、物理的距離が大きく影響しているというものです。

例えば、社内で本社と店舗でのメールトラブル(いざこざ)を引き起こしているケースがあります。メールによるコミュニケーションはノンバーバル(非言語)の情報が伝えずコミュニケーションロスを生じやすいのです。大切なことは直接会って表情を観察しながら話し合うこと。そんな習慣を身に付けましょう。



ふじさき・としろう
株/パートナーズリンク代表取締役社長、大阪府立大学経済学部卒業後、大手流通チェーン企業に入社。大手IT/電子コネクト企業で総務SV、営業企画部長、経営計画部長を経て独立。人事コンサルタントとして社員教育/リスク回避型就業規則作成/クレーム対応コンサルティング、評価制度の構築などをしている。